

流水俳壇

松尾 満津於 選

「当季雑詠」

問 浩太

墓も老ゆ筈鳴きの声どもるとき
 (評)「笹鳴き」はまだ完全に春の如くには轉らず啼き習うように声をもらすのをいうのである。彼岸どきの墓参りであろうか、若くして逝きし人とか、作者との関係等の説明や感情を採殺して「墓も老ゆ」と表現している。水遠に年をとることのない墓のありようが「老ゆ」という嚴肅なものに象徴され鶯の未だ整わない鳴き声にも応えることも、和することもない作者の、飄然とした存在がよく見えている。

片岡 包女

竊かかるたびに春めく軒しづく
 (評)足許のしつかりとした写生句である。細かい水滴が空气中に浮遊している現象が論であり、一かかると「軒しづく」と目に見える音に変えた感性はすごい。

竹崎 光子
 春田鋤く父子のありて日曜日
 (評)農家生活の日常的な情景である。農業を主とする父と、俸給で生活する子の日曜日である。父は労働の尊さを欣然と伝えている、鋤の先に起こされていく春の土にみよりの夢を展く、太陽の滋光が身にそそぎ、靨郁とした春風が呼吸する。こうした中に農業も、その仕来りも受け継がれていく。近年この句のような情景を見る機会が少なくなつたことが淋しく思う。

筒井 眉躬
 愛らしき坊主頭や露の茎
 (評)早春の畦徑や耕作のない畑の隅に、残雪と隣り合わせて圓い球のような淡緑色の花芽を出すのが露の茎である。作者はそれを「愛らしき坊主頭」と表現した。眼に見えるもの、見えないものの表現は人々々である。この句のような感覚もあるだろうし、幼児の拳を連想する人もあるだろう。俳句は写生が本来の姿であることから、主観に囚われないことも大切な要素。

川村 博子
 お遍路の杖を小脇にメール中
 友草 水月
 枝先の親しき距離に四十雀
 渡辺万利子
 出私いて婆がひとりの初音聞く
 中屋 桜子
 一と枝の梅手折らんとするざんげ
 広瀬うき子
 春泥や轍に足の踏み場なし
 鈴木 公子
 故郷の香り届くや春立つ日
 伊藤 たみ
 浅春の旅の渚や富士光る
 筒井 文
 うぐいすの初音に心うばわるる
 松尾満津於
 薄氷に朝陽張りつく棚田かな
 次題「当季雑詠」
 4月25日締切「五句」

川村千園子
 ふる里に会話は尽きず青き踏む

問い合わせ・提出先

吾北教育事務所
 いの町上八川甲2010
 電話 867-2133

今月のこども川柳

とり年に フライドチキンは 梅の花 みんなの心に
 かわいそう
 神谷小 4年 中追小 4年 花さかす
 廣瀬 美穂 中岡 奈々
 お正月 なくなるものは そろばんで うめの花を
 神谷小 4年 お年玉 中追小 3年 教えてる
 岡村啓二郎 安岡 伸也
 ひるやすみ そとでげんきに
 枝川小 3年 あそぼうよ
 いけざわあやの



フォークダンス教室

開設のお知らせ

- ◎生涯学習の一つとしてのフォークダンスを楽しみませんか!
 - ◎仲間と世界の踊りを楽しみつつ、フォークダンスの基本ステップをマスターしましょう!
 - ◎健康増進のため、音楽にのって、体を動かしましょう!
- ☆主催☆ 吾北FD・チロル
 ☆後援☆ 吾北中央公民館

5月12日～6月9日 毎週木曜日(5回)
 19時30分～21時

場所 下八川公民館 いの町下八川乙408-2
 対象 中学生以上の初心者
 指導者 濱田美和子先生(日本フォークダンス連盟2級公認指導者)
 申し込み 当日会場で受け付けます。

連絡・問い合わせ先
 ◇フォークダンスサークル《チロル》会長 北川ちづ 電話867-3731
 その他 参加希望の方は、動きやすい服装で、上履き(運動靴など)を持参してください。途中からの参加もOKです。